



# 人らしく生きさせろ！

「なんとかなる」、「自分のせい」、「仕方ない」、「言っても無駄」と、私たちはいろいろなことにあきらめ、無関心になっていませんか。

岸田政権は、閣議決定だけで安倍元首相の「国葬」をゴリ押ししています。丁寧の説明すると言いながら、閉会中審査でも今までと同じことを繰り返すだけで、具体的な理由も回答していませんし、税金を当たり前のように使おうとしています。旧統一教会と自民党のつながりも、表面的な調査のみで、自民党議員の真意はわかりません。安倍元首相については、「本人がなくなっています。実態を把握することは限界がある」と調査すらしない。「森友・加計・さくら」の疑惑にもこのままやむ

やにされてしまうのではないのでしょうか。

自民党の改憲草案には、「家族は、社会の自然かつ基礎的な単位として、尊重される」など、旧統一教会、「国際勝共連合」の改憲案と酷似しています。

あきらめや無関心でいると、知らないあいだに危険な方向に社会が傾いても気が付くことができません。無知と無関心が、無責任な政治体制を許してしまいます。

だから、学習会で「なぜか、どうしてか、それでいいのか」と相互討論を続け、仲間と信頼関係をつくりながら「あきらめ、無関心」の自分から、当たり前のことを当たり前に「人らしく生きさせろ！」と声をあげて要求、行動のできる自分になりたいと思います。

労働大学企画編集委員 岸 真弓